

視覚障がいをお持ちの方の学修支援とアクセシビリティへの取り組みについて

本学は完全オンライン・オンデマンド型の教育システムを採用しており、視覚障がい(弱視等)をお持ちの方にとっても、これまでに培われたICTスキルを活かし、自立的に学べる環境を整えています。

本学が、視覚障がいをお持ちの方の受け入れを推進できる理由は、以下の「標準的な学習環境」にあります。

1. 国際基準に準拠したLMS(Canvas)の採用

本学が採用している学習管理システム「Canvas LMS」および「Canvas Studio」は、アクセシビリティの国際指標であるWCAG 2.2のレベルAおよびAAに実質的に準拠しています(WebAIMによる評価)。音声読み上げ機能(スクリーンリーダー)や画面拡大機能との親和性が高く、ストレスの少ない操作環境を提供します。

2. マルチデバイス対応に伴う柔軟な受講スタイル

Canvas LMSはPCブラウザ(Windows/Mac)からモバイル端末(iOS、Android)まで幅広く対応しており、以下の主要なスクリーンリーダー環境に互換性があり動作検証が行われています。

- ・PC(Windows): NVDA、JAWS(FirefoxおよびChromeの最新バージョン)
- ・Mac: VoiceOver(Safariの最新バージョン)
- ・iOS / Android: VoiceOver、Talkback(各モバイルアプリの最新バージョン)

これにより、学生はご自身が最も習熟している環境を選択し、学習を進めることができます。

3. オンデマンド講義による、個々の状況に最適化された学び

本学では全ての講義をオンデマンド形式にて再受講することが可能です。スクリーンリーダーを用いた自分のペースでの資料確認、聞き取りづらい箇所の繰り返し再生、また自身の状況に合わせた受講スケジュールの調整が可能です。

【入学をご検討中の方へ:個別相談のご案内】

本学の学習環境において、ご自身のデバイスやソフトウェアでどのように学習を進めていけるか、また個別の学修支援のあり方について、随時個別相談を受け付けております。

なお、基本的な操作方法については、利用者ご自身で完結できるマニュアルを用意しております。

併せて、操作に不安がある場合や問題が生じた場合には、電話等によるサポートデスクでの対応も行っております。

以上